

様式第2号（第8条関係）

審議会等会議録

会 議 の 名 称	令和7年度 第1回加須市農業集落排水事業審議会
開 催 日 時	令和7年8月5日（火） 午後1時30分から午後2時40分まで
開 催 場 所	加須市環境浄化センター 2階 大会議室
議 長 氏 名	鈴木 紀之 会長
出 席 委 員	鈴木 紀之 会長 松本 栄次郎 会長代理 羽鳥 善治 委員 岡田 博 委員 関口 政司 委員 長島 孝明 委員 下岡 功 委員 松岡 輝 委員 黒川 澄子 委員 江原 正子 委員 増田 浩之 委員
欠 席 委 員	石川 登美雄 委員 石川 勝英 委員 小坂 幸夫 委員 大熊 照男 委員
会 議 次 第	1 開 会 2 委嘱状の交付 3 副市長あいさつ 4 会長あいさつ 5 議 事 (1)令和6年度加須市農業集落排水事業進捗管理調書について (2)第2次加須市農業集落排水施設最適整備構想（案）について (3)第2次加須市農業集落排水事業経営戦略の策定について 6 閉 会
会議資料の名称	資料1 令和6年度加須市農業集落排水事業進捗管理調書 資料2-1 第2次加須市農業集落排水施設最適整備構想（案）【概要版】 資料2-2 第2次加須市農業集落排水施設最適整備構想（案）【縮刷版】 資料3 第2次加須市農業集落排水事業経営戦略の策定について
会議の公開又は 非 公 開 の 別	公 開
非 公 開 の 理 由	
傍 聴 者 の 数	0 名
説明者の職・氏名	上下水道部副部長兼下水道課長 小川 修一
事務局職員の職・氏名	上下水道部長 柿沼 順 上下水道部副部長兼下水道課長 小川 修一 同課副参事 川島 昌美 同課主査 渡辺 敏充 同課主任 伊藤 芳明
会議録の作成方法	☒ 要点記録 ☐ 全文記録
その他必要な事項	なし

発言者	会議の内容（発言内容、審議経過、決定事項等）
事務局（川島副参事）	開会
【委嘱状の交付】	
副市長	（委員への委嘱状交付）
【副市長あいさつ】	
副市長	副市長あいさつ
【会長あいさつ】	
鈴木会長	会長あいさつ
【議事】（1）令和6年度加須市農業集落排水事業進捗管理調書について	
事務局（小川副部長兼課長）	説明
【質疑・意見】	
鈴木会長（議長）	ただいまの説明に対しましてご質問、ご意見等がございましたら、発言をお願いします。
関口委員	処理水のBODについて、令和6年度実績は平均で2.4mg/ℓで目標達成という説明がありました。 そのうち、内田ケ谷処理区では令和5年度実績1.4mg/ℓが令和6年度実績3.8mg/ℓと約2倍以上に上がっています。この理由は何かあるのでしょうか。
事務局（小川副部長兼課長）	毎日、入ってくる汚水量は変わります。雨が降って水が多いときもあれば、少ないときもあります。内容量も月毎に変わります。こうした汚水の中身が変わることによって、数値に波があります。 また、汚水は薬で一括して綺麗にするわけではなく、微生物に汚物を食べてもらって、活性化的に水を綺麗にしています。中身や水量が違えば若干の変化は出てしまいます。 目標値はBOD10mg/ℓとしていますが、内田ケ谷処理区の3.8mg/ℓは鮎でも住めるようなかなり綺麗な水で、浄化はうまくいっていると考えています。
長島委員	名倉地区では空き家も増えてきている状況です。加入率を算出する際には、公共ますは残っているけれども、空き家となっているような場合、どのように取り扱っているのでしょうか。
事務局（小川副部長兼課長）	宅地の中に1箇所公共ますがありますが、この公共ますは設置後撤去するということがあります。 撤去されていないければ、そこに誰かが住んで、その公共ますを使うということも考えられます。 公共ますが撤去されずに残っていれば、空き家であってもカウントはしています。
【議事】（2）第2次加須市農業集落排水施設最適整備構想（案）について	
事務局（小川副部長兼課長）	説明
【質疑・意見】	
鈴木会長（議長）	ただいまの説明に対しましてご質問、ご意見等がございましたら、発言をお願いします。

発言者	会議の内容（発言内容、審議経過、決定事項等）
事務局（柿沼部長）	補足説明をさせていただきます。 施設の統廃合という言葉もあったのですが、A地区とB地区を統合するというような地区はありません。どこかの処理区を廃止することではなく、近くに公共下水道の管渠が通っている場合は公共下水道へ接続する、又は、処理施設を単独更新していくという計画を事務局としては考えています。 計画は40年という長い期間を見えています。今後、維持管理や施設の修繕にどの程度の費用が必要か積算して、これらを同期化・平準化することで1億円は低減できるという結果が出ました。 これをさらに削減できる方法はないかという検討の中で、公共下水道へ接続する又は処理施設を単独更新していくという再編方針を示した計画となっています。 さらに、年を経て事情が変われば、その時点で最適な方法を検討し一部計画を見直して、当審議会で御意見をいただきながら微修正を加えていくことで考えています。
増田委員	2点質問があります。 1点目。計画期間が40年となっていますが、40年という根拠は何かあるのでしょうか。 先ほど、管渠の法定耐用年数は50年という説明がありました。一方、加須市の管渠の経過年数は20年以上のものの比率が一番多いという説明もありました。 そうすると、50年から逆算して30年程度の計画がよいのではないのかと考えたため、40年とした根拠を教えてください。 2点目。再編方針として「公共下水道へ接続」と「処理施設を単独更新」の2つが示されていますが、「公共下水道へ接続」とした場合、使用者の使用料はどのようになるのでしょうか。 下水道使用料又は農業集落排水処理施設使用料どちらになるのでしょうか。
事務局（小川副部長兼課長）	1点目について。政府において、インフラが老朽化してきたため、これを長寿命化させるという計画ができました。 そのような中、農業集落排水事業を所管する農林水産省が最適整備構想の指針を示しましたが、その指針の中で計画期間は40年とされているものです。 2点目について。現時点での考えですが、農業集落排水事業は一般会計からの繰入金や使用料をいただいて経営をしています。 また、農業集落排水の管渠が道路下に入っていますが、この管渠は農業集落排水事業の財産です。農業集落排水事業として作ったものであり、公共下水道の財産ではありません。今後、その管渠も維持管理していく必要がありますので、使用料については現在皆さんにお支払いいただいている農業集落排水処理施設使用料のまま継続する考えでいます。 皆さんには今まで通り農業集落排水を使用していただいて、市は今まで通り維持管理していきますので、公共下水道へ接続してもご不便はかけません。
鈴木会長（議長）	8月19日までに第2次加須市農業集落排水施設最適整備構想（案）に対する質問等を受け付けるという説明がありましたが、口頭での質問でよろしいのでしょうか。

発言者	会議の内容（発言内容、審議経過、決定事項等）
事務局（小川副部長兼課長）	電話等の口頭で結構です。必要があれば聞き取りに伺います。
鈴木会長（議長）	フィードバックはどのようにされますか。
事務局（柿沼部長）	質問に対する回答が分かる形式にした上で、委員の皆さんにフィードバックしたいと考えています。
【議事】(3)第2次加須市農業集落排水事業経営戦略の策定について	
事務局（小川副部長兼課長）	説明
【質疑・意見】	
鈴木会長（議長）	ただいまの説明に対しましてご質問、ご意見等がございましたら、発言をお願いします。
鈴木会長（議長）	財政状況が厳しい中ですが、重要なインフラですので、しっかり策定をして計画的に進めていただければと考えています。資料のとおりに着実に進めていただくということによろしいでしょうか。
各委員	「はい」という声あり。
鈴木会長（議長）	それでは、他にご意見がないようですので、以上で本日の議事は終了とします。 委員の皆様におかれましては、長時間にわたりご審議をいただきありがとうございます。 以上で、議長の務めを終わらせていただきます。 ご協力ありがとうございました。進行につきましては、事務局にお返しします。
事務局（川島副参事）	鈴木会長には、議長としてスムーズな進行に努めていただき、ありがとうございます。 また、委員の皆様におかれましては、お忙しい中、本日はご出席いただき、また貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。 これをもちまして「令和7年度 第1回加須市農業集落排水事業審議会」を閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。 令和7年8月20日 署名 <u>鈴木 紀之</u>	